

介護現場の生産性向上のためのロジックモデル（1/5）

はじめに

介護分野における生産性向上のためのロジックモデルは、介護ロボット等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化により生み出した時間を直接的な介護ケアの業務に充てることで、「①介護人材の定着」や「②介護サービスの質の向上」といった、介護現場における生産性向上を目指しています。

①介護人材の定着

職員の業務負担の軽減を図り、残業時間の削減や有休休暇の取得につなげ、また、生み出された時間を研修等人材育成に活用する等により、介護人材の定着につなげ、ひいては離職率の低下や介護人材の確保を目指しています。

②介護サービスの質の向上

業務の改善や効率化により生み出した時間を直接的な介護ケアの業務に充て、利用者と職員が接する時間を増やすなど、介護サービスの質の向上に繋げることを目指しています。

介護現場の生産性向上のためのロジックモデル

